

例会報告：2016年3月8日（晴れ） 第1926回 通常例会

❖ 会員誕生日

須藤 公司さん（3月11日）
阿久津 馨さん（3月14日）
臼井 真一さん（3月14日）



❖ 結婚記念日

三宅 常公さん（3月11日）
木村 頼弘さん（3月11日）

❖ ニコニコ箱

櫻井 康二 委員長

	ニコニコ箱	累計	目標
3月8日分	9,000	644,271	1,300,000

* 会員誕生日

阿久津 馨さん…誕生日のお祝い有り難うございます。
76才にまります。

須藤 公司さん…誕生日のお祝いありがとうございます。
11日で48歳になります。最近、老眼が始まって来たよう
で、困ってます。

* 結婚記念日

木村 頼弘さん…結婚記念日のお祝いありがとうございます。
今で36回目です。自分でも「たいしたもんだ」と
思ってます。

■ ■ 今後のメークアップ情報 ■ ■

-2016年3月-

- ▶16日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話：小室実行委員長/50周年事業報告」
- ▶17日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話：江戸に生きる会理事長 宮澤 伊瀬男様/
出会いをかたちに〜ご縁〜」
- ▶18日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「会員による卓話」
- ▶18日(金) 足柄 おんりーゆー 12:30
「会員による卓話：担当 出席」
- ▶21日(月) 小田原 休会
- ▶22日(火) 箱根
- ▶23日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話：野村証券(株)支店長様」
- ▶24日(木) 小田原中 移動例会
- ▶25日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「会員による卓話」
- ▶25日(金) 足柄 おんりーゆー 12:30
「会員による卓話：会長エレクト」
- ▶28日(月) 小田原 報徳会館 12:30
「卓話：神奈川県土整備局河川下水道部 下水道課
課長代理 飯塚 健様/神奈川県の下水道事業」
- ▶29日(火) 箱根
- ▶30日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話：本田 憲一郎 ROTEX/
RC青少年交換留学生の経験とその後」
- ▶31日(木) 小田原中 報徳会館 17:30
「卓話：クラブフォーラム：PETS報告」

【小田原城北ロータリー・クラブ】
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
電 話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
URL：http://www.odawarajhrc.jp
Mail：info@odawarajhrc.jp
例会場：小田原卸センター内会議室
創 立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
例 会：毎週火曜日 12:30～13:30
クラブ会報委員会
監 修：柳井 涉
編集長：小林 和彦
コピーライター：小林 和彦
デザイン：小林 和彦
フィールド：大川 久弥

会員数：41名



RAC
会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2015-2016
WEEKLY BULLETIN



世界へのプレゼントになろう

【R.I. 会長】
K. R. ラビンドラン
【R.I. 2780地区ガバナー】
田中 賢三
【第9グループガバナー補佐】
石崎 孝



【会 長】木村 頼弘
【副会長】久保田 知子
【幹 事】柳井 涉
【副幹事】須藤 公司
【会場監督】西 寛

世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

本日の例会：40周年準備例会（第1927回）

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2016年3月15日 12：30～13：30
司会：須藤 公司 副幹事

12：30	開会点鐘：木村 頼弘 会長 ロータリーソング斉唱 「手に手つないで」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13：00	40周年準備例会
13：30	閉会点鐘：木村 頼弘 会長

楽しさと感動を呼ぶ一年にしよう

【今後の例会・卓話スケジュール】

- 3月22日(火) 通常例会
クラブ協議会 (PETS報告)
- 3月29日(火) 休会
- 4月2日(土) 40周年記念式典
- 4月12日(火) 通常例会 12:30
担当：鈴木会員
卓話：みずほ証券(株)経営調査部投資教育推進室
室長 浜崎祐一郎様
- 4月19日(火) 通常例会 12:30
クラブ協議会 (地区協報告)

■地区活動目標の概要

1.奉仕活動	ポリオ撲滅最優先 R財団地区補助金事業推進
2.公共イメージ	IM クラブ周年記念事業 ロータリーデーなどイメージ向上の機会を創る
3.寄付	財団 : 一人当たり 200ドル以上 米山奨学 : 一人当たり 20,000円以上 ポリオ撲滅 : 一人当たり 40ドル以上 ベネファクター：1クラブ 1名以上 ロータリーカードの普及
4.会員増強	10パーセント 衛生クラブを立ち上げる。
5.中核的価値観	ロータリーを学び、また学ぶ機会として、例会・IM・地区委員会・地区セミナー・地区大会・国際大会の出席率を高める。
6.オンラインツール	My Rotary ロータリークラブセントラルにクラブ情報入力
7.特別月間	戦略計画とR財団6つの重点分野を学び実践する機会として理解する。

例会報告：2016年3月8日（晴れ） 第1926回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2016年3月8日 12：30～13：30

❖ 会長挨拶

「社会奉仕」



木村 頼弘 会長

社会奉仕についてお話したいと思います。あくまでも私の個人的な考えです。社会奉仕は国際奉仕とは違い、私達の一番身近にある実行しやすい奉仕活動です。

私は以前、社会奉仕委員長を経験した事があります。その時まず何を考えたかと言うと委員長という立場と体裁、すなわち世間体を第一に考えました。委員長だから何か、みんなに納得してもらうような立派な社会奉仕をしなければならないと考えたのです。自分の立場、そして世間体、すなわち自分の事を第一に考え、本当に本心から、支援する相手の事を想って奉仕したのかと言うと非常に疑問が残りました。

それでも、その時は社会奉仕をしたなという実感と満足感だけは得られました。しかし、当然の如く、終わってしまえば自分の責任はそれでおしまいです。相手への関心など次第に薄れて忘れてしまいます。今思えば、私の行った社会奉仕は義務的に行った奉仕であり、自分の立場を守るために相手を利用したに過ぎない、自己満足の奉仕であったと思っています。

また、支援された相手は、いったい私達が行った奉仕活動をどのように受け止めているのでしょうか。支援して頂いたのは大変有難い事と思っているでしょう。その反面、どうせ組織の一時的な支援と受け止めているのかも知れません。

それを知る由もありませんが、私達の「行った奉仕」も「相手の感謝の気持ち」もお互い、その場だけの関係でしかないような気がします。社会奉仕とは、

- 1委員会と関心のある人だけがやれば良いのか、
- 2支援する相手とはその時だけの付き合いで良いのか、
- 3本心ではなく義務的でも相手が喜べば良いのか、色々考える事は多いと思います。

一体、「社会奉仕とは何だろう」と思う時があります。物事には「理想」と現実、「本音」と建前がありますが、「理想」と「本音」だけでは出来ない事も沢山ある事は判っています。私の行った社会奉仕は「建前」すなわち義務的に行った奉仕ですが、今は自分の行いに対して反省し今後、経験と実績を積み重ねる事が、次にもし社会奉仕を行う機会があれば、今回とは違った「気持ち」と「心構え」で出来るのではないかと考えています。

RCに居る限り奉仕に対する関心を持つ事は大切な事です。そして社会奉仕を含め奉仕という言葉は山ほど聞きますが、やはり実践となると「理想」と「現実」の壁を乗り越えるのは容易な事ではないと思います。

「奉仕の理想」を実現するには私には、まだまだ時間が掛かると感じています。

❖ 幹事報告



柳井 渉 幹事

1)今週事務局は木曜日がお休みで翌金曜日に出てきています。

❖ 出席報告

安藤 克己 委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
3月8日	41(39)	27	0	69.23%
3月1日	41(40)	34	0	85%
2月23日	42(41)	31	0	75.61%

【欠席者】12名

中村 維孝、大川 裕、一寸木 芳行、石坂 弘之、長田 英一、大谷 宏、西 寛、上田 博和、菊地 義雄、大野 英明、志澤 昌彦、木村 啓滋

【今回MU】なし

【前回MU】増加なし

【前々回MU】増加なし

❖ 委員会報告

IM実行委員会 露木委員長

今日配布した3月号のガバナー月信5Pに石崎さんが書かれた原稿で報告がなされています。是非お読みください。1/21当日は午前中からEND POLIO NOWキャンペーンと箱根応援キャンペーン含めて参加していただき、また13時からは湯本富士屋ホテルでの会場監督など多くの皆さんに集まっていたいただきありがとうございました。懇親会の終わる19時まで無事に終了することができました。皆さんのおかげだと思っています。そのエネルギーを来月の40周年に向けてまたよろしく願いいたします。

杉崎会員

新会員歓迎会を3/15（火）18時より「食の壺」で行います。新会員ご本人・長田さんのお店ですので、是非皆さんご参加ください。40周年もあと3週間後です。それも含めて楽しく、一丸となってやりましょう。

❖ Table flower

- ガーベラ
- 桜小町
- ラナンキュラス
- ドラセナ

【花言葉】

ガーベラ：「希望」

桜小町：「青春の愛」

ラナンキュラス：「とても魅力的」



❖ 卓話

「社会奉仕フォーラム」



2780地区ガバナー補佐 石崎 孝 会員

先週会長から急遽お話しがあり、今日卓話をさせていただきます。事前にあまり勉強することができなかったので皆さまにうまく伝わるか心配ですが、よろしくお願ひします。今日は「フォーラム」ということですが、クラブ協議会・クラブフォーラムは年に何回か開催されています。それぞれの意味はご存じでしょうか？

フォーラムは討論会、協議会は基本的に「クラブのプログラムと活動について協議する」場です。クラブ協議会は役員・理事・委員長を中心にクラブ会員全員が集まってテーマを決めて協議し、方向性を決定する場です。クラブフォーラムは討論会なので意見を述べる場です。当クラブも会員数が41名と少なくなっていますので、企業で言うと売り上げが半減している状態です。危機感を持って何とかしなくてはと思うのが普通でしょう。会員増強のためにクラブ協議会を絶対持つて欲しいと思います。そうしなければ会員は減っていく一方で皆さんの意識も遠のいていきます。是非協議会をやってください。

今日のテーマは「クラブ強化・発展させるために何をすべきか」です。皆さん一人一人の意見を述べていただきたいと思っています。まず私がガバナー補佐として各クラブを巡回した感想を先にお伝えします。次に奉仕についてお話ししてからフォーラムに入りたいと考えています。私は第9グループの7クラブを訪問させていただきました。小田原RCは60周年を終え、今でも会員数・規模とも指導的で活発な活動をされています。湯河原RCはアットホームでまとまりのあるクラブでした。箱根RCはやはり観光都市ですし例会場も富士屋ホテルで、品位と品格のあるクラブです。小田原北RCも同じですが、落ち着いた雰囲気です。小田原中RCは会員増強を頑張っている活発なクラブで、うらやましく感じました。足柄RCは会員数が減少しているようですが、伝統的に奉仕活動を積極的になさっており、人数が少なくても奉仕に関する予算はしっかりと組んでいらっやいます。そういった中で一番感じたことは、会員一人一人が自分のクラブが好きかという点です。自分のクラブやクラブ会員が好きで、多くの会員の中に自分がいることが楽しいと思えば会員減少はしません。それこそが宝であり、一番大切なことです。私たちも会員数減少を止めなくてははいけません。誰かがやると思っていたら大間違いです。全員が仲間を連れて来なくてははいけない。仲間が増えれば刺激が生まれ、自分たちも勉強できるのです。皆さんが放棄している気がしますので、増強を第一に考えて欲しいです。ロータリーは奉仕という言葉が出ますが、その前に親睦と会員増強がしっかりできているかが重要です。それができるクラブが発展していくのです。量とか質とかは失礼な話で、仲間を増やす方法を皆で考えましょう。奉仕について。ロータリーには五大奉仕という言葉があります。クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕ですが、五つに分けたために却って分かりにくい気がします。

単純に「地域に住む人の生活の質を高め、公共の福祉に役立つこと」「地域社会世界の人々に良いことをして役立つこと」ではないでしょうか。世界へ向けて良いことをしよう、それが全て奉仕です。クラブ活動、ロータリアンの言行、それも全て奉仕です。その思いの中に四つのテストもあり、難しく考える必要はありません。ロータリアンとしての使命と責務は三つあります。まずロータリーファンドへ寄付をすること。そのためには自分の事業をしっかりしなくてはなりません。役に立つ仕事は全て価値があるものと認識し、ロータリアン各自の職業を高潔なものとする。価値を認めて職業に励み寄付をすることが重要です。もう一つは奉仕に学ぶこと。自己の成長を高めるために必要です。奉仕＝職業と考えれば、職業に学ぶということも大事だと思います。そして知り合いの機会を広めることによって奉仕の機会とする。それも奉仕に学ぶ大切さでしょう。

では、先ほどのテーマです。小田原城北RCを何とか6/30までに45～6名に保ちたいと望んでいます。「クラブ強化・発展させるために何をすべきか」にご意見をいただきたいと思っています。

柳井幹事「強化は会員皆さんの心構え一つで、意識を高めて皆で協力できる体制を作っていくことが大切です。そのためには親睦を強化しなくてはならないと思います。私が入会した頃は飲み会などがもっと多くて、例会だけで知り合えない部分や本音を聞ける良い機会になりました」

白井会員「親睦も大事ですし、魅力あるクラブなら退会者が少なくなると思います。増強に加えて退会を防ぐのも大切なことです」

守屋会員「ロータリー活動をもっと楽しくするためには、卓話が重要だと思います。皆が楽しく喜んで聞きたい内容を考えていただきたい。それも退会を防ぐ一つになるのではないのでしょうか」

清会員「ロータリーはやはり会員増強が大切で、今回会員増強委員長が途中で辞めたことが残念でなりません。小田原城北RCは全員が会員増強委員になればいい。会員一人が一人を入会させればすぐ倍になるわけです。70数名いた頃は二コニコ箱も200万以上集まったし、目標値がしっかりしていて色々な事業に使えました。皆が真剣にロータリーのことを考えて学んで帰ることが大事だし、早急に会長なりがリーダーシップを取ってやらないとまずいと思います」

辻村会員「会員増強はもちろん大切ですが、それが第一の目的になるよりは明るく楽しく魅力あるクラブであることです。そうすれば必然と会員も増えてくるでしょう。それを頭に置きながら、やはり増強も必要です。新入会員がやめていくことのないように、長く在籍している私たちが魅力ある会を作っていかななくてははいけないと思います」

会員増強が目的ではなく、会員が増えることでクラブにもたらす影響、活性化が大切だと感じています。とにかくクラブが元気になり楽しくなることです。皆さんのお力で年度末までに当初の人数くらいは保たなくては。それも会長の使命だと思います。是非クラブ協議会を開いて方向性を決めていただきたいです。40周年で減少するのは問題ですので、皆で目標を定めて進んでいきましょう。